

大会申し合わせ事項

1. プレー中に使用する、杖及び車椅子などの補装具はすべて身体の一部とみなす。
2. 上肢に不随意運動を伴う者と、車椅子使用者のサービスにおいては、下記の2点について配慮する必要がある。
 - ① サーバーのラケットで打たれる瞬間に、シャトル全体がサーバーのウエストより下になければならない。
 - ② サーバーが持つラケットのシャフトは、シャトルを打つ瞬間に下向きでなければならない。
3. 下肢障害を有するものはダブルレシーバールールの適用を希望することができる。但し、試合開始前に審判に申請しなければ適用されない。
ダブルレシーバールールとは下記の通りである。
 - 下肢障害を有するものがレシーバーとなる場合、もう1人のプレーヤーを含め、2人がレシーバーとなることができる。但し、サーバーが、サービスの動作を開始する前に、2人ともレシーブエリアに入っていないなければならない。
4. 監督・介助者席は、コートサイドに設ける。なお、2名までの立入を可能とする。